

# 繫

TSUNAGU

2025年10月号  
発行/医療法人 大泉会

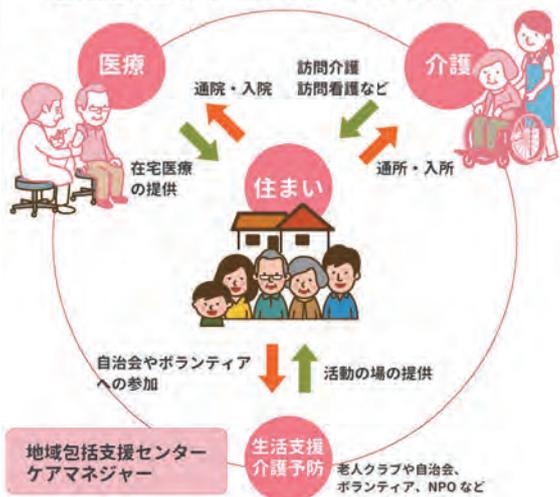
第13号

## 地域包括ケアシステムとは

### 目的

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるよう支援することです。  
これにより、人生の最期までその人らしい暮らしを送ることが可能になります。

### 地域包括ケアシステムのイメージ



## 地域ケアシステム

\*地域全体で高齢者を支えるための重要な枠組み

### 大泉会グループ

住まい	生活支援 福祉サービス	予防・保健	介護	医療
<p>自宅や介護施設など、暮らしの基盤となる場所です。</p> <p>・介護付き有料老人ホーム むこうがおか</p>	<p>買い物支援・見守り・配食など、生活を支えるサービスです。</p> <p>・大泉会介護支援センター ヘルパーステーション</p>	<p>介護が必要になるリスクを減らすための取り組みです。</p> <p>・通所リハビリ</p>	<p>在宅サービスや施設サービスを組み合わせ、必要に応じて適切なケアが受けられる体制です。</p> <p>・介護老人保健施設 だいせん つえのしば 介護老人保健施設 くらしいし</p>	<p>かかりつけ医や地域の病院が連携し、日常の診療から緊急時の対応まで行います。</p> <p>・大仙病院 いずみクリニック いずみ訪問看護ステーション</p>

地域包括ケアシステムの5つの構成要素

# 大仙病院

## 大仙病院（病棟）について

当院では「地域包括病床29床・一般病床1床」を有し、急性期治療を終えた患者さんが在宅復帰に向けてリハビリや療養を行える病棟です。医学的管理が必要な方も受け入れていきます。

また、多職種チームが協力して包括的な医療を提供します。

### ■入院の対象

- ・急性期病院からの転院
- ・在宅療養中で一時的に入院が必要な方
- ・ご家族の休養目的（レスパイト入院）

※入院期間は最大60日ですが、病状により短縮することもあります。

### ■病棟スタッフ

令和7年8月現在、看護師14名・看護補助者8名が協力して患者さんを支援しています。



病棟スタッフ

- ・主治医の指示のもと、理学療法士
- ・作業療法士
- ・薬剤師
- ・管理栄養士
- ・医療相談員
- ・言語聴覚士（週1回）も関わります。

急性期病院



地域包括ケア病床



自宅・施設



退院

### ■看護部の理念と方針

【理念】人間性を尊重し、患者さんに信頼される思いやりのある看護を目指します。

【方針】・目配り・気配り・心配りを大切にし、安心・安全な看護を提供します。

- ・他部門と協力して、患者さん中心のチーム医療を行います。
- ・地域医療に貢献します。

### ■看護補助者の増員

令和7年8月より、インドネシアから2名の特定技能修了者が仲間入りしました。日本語や介護の勉強をしながら、介護福祉士の資格取得を目指して頑張っています。



介護一年生！先輩補助者の指導を受けながら...



日本語の勉強と介護の基本を学習中

### ■当院で多い疾患

- ・誤嚥性肺炎
- ・心不全
- ・尿路感染症
- ・褥瘡

看護補助者の増員により、患者さんご家族に今まで以上に満足いただけるケアを提供していきます。



### ・脱水

・蜂窩織炎など

高齢になると筋力や免疫力が低下し、これらを繰り返す方が多くなります。

### ■人生会議（ACP）のすすめ

嚥下機能が低下している場合、患者様ご本人は「飲み込めている」と思っていることが多く、数日後に発熱などの症状で受診されるケースが少なくありません。

肺炎の症状が治療で改善しても、食事再開後に誤嚥を繰り返すと、病院では経口摂取を中止し、経管栄養・胃ろう造設・補液（点滴）による栄養管理などの選択を迫られる場合があります。

嚥下機能の評価や食事再開時には、看護師による飲水テスト、嚥下状態の観察、摂食訓練などを行い、経口摂取が継続可能かどうかを判断します。

地域包括ケアシステムの目的である「自立した生活を続けること、自分らしい生活を最期まで送ること」を考えると、元気なうち（意思表示ができる時期）に、「自分がこのような状態になったら経管栄養を選ぶのか、胃ろうを造設するのか、補液だけで過ごすのか」あるいは「寿命が短くなっても最期まで口から食べたい」など、自分の意思を整理し、家族や施設職員に伝え残しておく（人生会議）ことをお勧めします。

この準備がないと、家族が苦しい決断を迫られることになり、深い悩みや葛藤を抱えることがあります。

病院は入院時の状態を改善するために検査や治療を行います。結果的に本人が望まない延命処置につながる場合もあります。

患者様ご本人の意思が確認できれば、その意思を尊重した対応が可能です。そのためにも、ご自身の意思をあらかじめ医療機関へ伝えられるよう準備しておくことが大切です。

■退院支援の目標例

- ・自分でトイレに行けるようになる
- ・ポータブルトイレを使えるようになる
- ・車いすに座れる時間を延ばす(30分〜1時間程度)



早くベッドに戻りたい…



ちょっと怖いけど…

■メッセージ

病棟では入院中に衰えた筋力や気力を回復するため、できるだけ離床を促しています。たとえ自立した生活が難しくなっても、最期までその人らしい生活が送れるよう、全力でサポートします。



■介護老人保健施設 うえのしば

管理栄養士の仕事紹介

「安心・安全で”おいしい”食事を届けるために」

老健うえのしばでは、管理栄養士が中心となり、入所される方一人ひとりに合わせた食事を提供しています。

入所時の聞き取りと食事内容の決定

新しく入所される方については、相談員から事前

に情報を受け取り、看護・介護職など多職種と相談しながら食事内容を検討します。

入所当日には、ご本人やご家族に生活スタイルや

食習慣を伺い、できるだけ自宅での食事に近い形で食事を提供できるよう心がけています。

毎日のラウンドと食事調整

食事の提供時にはラウンドを行い、栄養状態や嗜好、嚥下・咀嚼機能を直接確認。必要に応じて食事内容の再調整を行います。

また、施設には経管・経鼻栄養の方が約20名おられ、提供する栄養剤や水分についても多職種と相談しながら選定しています。

栄養ケア・マネジメント

管理栄養士の大切な仕事として、栄養ケア・マネジメントがあります。

低栄養の予防や改善を目的に、カンファレンスで他職種と情報共有しながら、PDCAサイクルに基づいた栄養ケア計画を作成。

カンファレンスでは、ご家族にも参加いただき、食事内容や喫食量、体重の変化などをお伝えしています。

新しい取り組み…やわらか食の提供

最近では、ターミナル期の方に向けた「やわらか食」の提供を始めました。

病状の悪化や食欲の低下が見られる方にも、できるだけ食事の楽しさを感じていただきたいという思いから、見た目や香りにも配慮したやわらか食を用意しています。

介護・看護職から日々寄せられる「今日はパンを食べたいとおっしゃっていました」「こんな様子でした」という声はとても参考になります。

利用者様から「美味しかったよ」と言っていただけることが、私たちの大きなやりがいになっています。

最後に

これからも多職種と連携し、利用者様が安心して快適に過ごせるよう、食事の面から支援を続けてまいります。



肉じゃが・豆腐田楽  
ソラ豆とカリフラワーのソテー

■介護付き有料老人ホーム むこうがおか

今回は、レクリエーションの一環の移動スパー「とくし丸」の様子を紹介したいと思います。令和7年7月から利用者の皆様に買い物を楽しんでいただくために、依頼しました。7月は毎週木曜日に、8月からは第1・3木曜日に来ていただいています。

開催の度に大盛況で、「いろいろな物が売ってるから楽しい」「パンの種類も多いし、総菜もあるし、デザートも豊富だから嬉しいわ」等、喜びの声が沢山聞かれています。

今後もいろいろなイベントや催しをしていこうと思います。



とくし丸でのお買い物

接種日程

- 10月11日(土) • 11月8日(土) • 12月6日(土)
  - 10月25日(土) • 11月22日(土) • 12月20日(土)
- 各日程 13:30 ~ 16:00 に実施します。

接種費用

- インフルエンザワクチン  
大人：3,500円(税込) 中学生以下：2,300円(税込)  
※堺市公費対象：1,500円
- 新型コロナワクチン  
自費：15,000円(税込) ※堺市公費対象：8,000円  
(公費助成の詳細は、堺市ホームページをご確認ください)

ご予約方法

予約受付開始  
9月22日から

- インフルエンザワクチン  
左記いずみクリニック LINE アカウントからご予約ください。
- 新型コロナワクチン  
予約専用ダイヤル ☎072-268-5430 へお電話ください。

いずみクリニック  
LINE公式アカウント



インフルエンザワクチンは  
左の LINE から登録ください。



「いずみクリニック」  
インフルエンザ・新型コロナワクチン予防接種のご案内

令和7年10月1日から、令和7年度のインフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの予防接種を開始します。

いずみクリニックでは、完全予約制(時間予約制)で接種を行います。

「介護老人保健施設 だいせん」  
安全に、楽しく夏の涼味を味わう

この夏、当施設では「わらび餅」と「かき氷」のレクリエーションをそれぞれ開催しました。かき氷は嚥下状態に合わせて、とろみを加え、むせにくく安心して楽しめるよう工夫。わらび餅は、普通食とペースト状の2種類をご用意し、お一人おひとりに合わせた形態で提供しました。

色とりどりのシロップや、なめらかな口当たりのわらび餅がテーブルを彩り、どちらの日も笑顔あふれる時間に。季節を感じながら、心も体も涼やかになるひとときを過ごしていただきました。



広報委員会より

広報誌『繫』は、2022年9月の創刊以来、年4回発行を続け、今回で第13号となりました。創刊号は、医療法人大泉会が掲げる「医療・介護・福祉のトータルケアを目指して」というテーマのもとスタートし、大仙病院・いずみクリニック・介護老人保健施設だいせん・くろいし・うえのしば・介護付き有料老人ホームむこうがおか・いずみ訪問看護ステーション・大泉会介護支援センターからの原稿で構成されました。

これまで発行された広報誌は、大仙病院のホームページのトップ画面左下「広報誌」欄からご覧いただけます。見逃した号がある方は、ぜひ一度ご確認ください。

『繫』というタイトルには、患者さん・利用者さんはもちろん、職員や地域の方々など、すべての関係者をつなぎたいという思いが込められています。

地域に密着した医療・介護・福祉ネットワーク

医療法人 大泉会

https://daisenkai.jp

地域に密着した のトータルケア



医療法人 大泉会

大仙病院

〒593-8302  
大阪府堺市西区北条町1丁2番31号  
TEL 072-278-2921  
FAX 072-278-2925

医療法人 大泉会

いずみクリニック

〒591-8036  
大阪府堺市北区百舌鳥本町2丁401番地  
TEL 072-257-6226  
FAX 072-258-5537

医療法人 大泉会

いずみ訪問看護ステーション

〒593-8302  
大阪府堺市西区北条町1丁2番31号  
TEL 072-276-5505  
FAX 072-276-5525

大泉会

介護支援センター

〒593-8303  
大阪府堺市西区上野芝向ヶ丘町1丁21番5号  
TEL 072-270-8305  
FAX 072-270-8306

医療法人 大泉会  
介護老人保健施設

だいせん

〒599-8234  
大阪府堺市中区土塔町155番1  
TEL 072-230-0201  
FAX 072-230-0205

医療法人 大泉会  
介護老人保健施設

くろいし

〒594-1113  
大阪府和泉市黒石町566番1  
TEL 0725-57-2266  
FAX 0725-57-2267

医療法人 大泉会  
介護老人保健施設

うえのしば

〒593-8303  
大阪府堺市西区上野芝向ヶ丘町4丁24番30号  
TEL 072-276-3500  
FAX 072-276-1700

医療法人 大泉会  
介護付き有料老人ホーム

むこうがおか

〒593-8303  
大阪府堺市西区上野芝向ヶ丘町4丁24番39号  
TEL 072-281-1135  
FAX 072-281-1139